

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第4回定例会
- 2 開催日時 平成26年3月25日(火) 午後2時～5時15分
- 3 開催場所 木更津市立中央公民館 1階大ホール
- 4 出席者氏名 **【公民館運営審議会委員】** 19名
若鍋 知幸 影山 匡子 村上 淑子 石井 京子
松尾 玲子 青木 健 古藤田 憲之 元木 栄
三上 由美子 伊藤 敏彦 森田 美保子 金子 邦夫
山田 治子 丸岡 千佳子 佐藤 せつ子 澤邊 賢司
瓜田 栄一 菅原 興二 鶴岡 俊之
- 【公民館長】** 16名
渡邊 雅夫(中央公民館) 伊藤 勉(八幡台公民館)
原 敏美(富来田公民館) 泉水 義治(東清公民館)
菅野 清次(岩根公民館) 今関 章(清見台公民館)
伊藤 一郎(鎌足公民館) 山口 玲子(畑沢公民館)
小原 俊朗(金田公民館) 山中 裕(岩根西公民館)
竹内 利幸(中郷公民館) 牧野 秀樹(西清川公民館)
加藤 芳夫(富岡公民館) 根本 弘(波岡公民館)
室前 恵子(文京公民館) 林 正巳(桜井公民館)
- 【公民館運営審議会事務局】** 3名
星野 隆弘(中央公民館副館長)
齋藤 礼司郎(中央公民館主査)
栗本 優(中央公民館事務員)
- 5 議 題 議案第1号 平成25年度公民館事業実施結果について
(1) 平成25年度公民館重点目標・施策の結果
(2) 第18回木更津市公民館のつどい事業
(3) 各公民館の実施事業内容、及び重点目標に対する
取り組み・成果と課題

議案第2号 木更津市生涯学習推進協議会委員の推薦について
報告事項 (1) 各種選出委員からの活動経過について
(2) その他

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴人の数 0人

8 会議概要 以下のとおり

事務局より、委員の出席状況について、定数20名に対し過半数である19名の出席により、木更津市立公民館運営審議会運営規則第6条の規定に従い、会議の成立が報告された。

山田委員長の挨拶に続いて、山田委員長の議長で審議に入った。

議案第1号「平成25年度公民館事業実施結果について」

最初に、渡邊中央公民館長より平成25年度公民館重点目標・施策の結果について、原富来田公民館長より「健康」テーマにした事業の取り組みについて、山口畑沢公民館長より第18回木更津市公民館のつどいの経過について、報告がなされた。

その後、各公民館の平成25年度の取り組み・成果と課題について、資料をもとに中央公民館から順番に3回に分けて報告がなされ、併せて質疑応答が行われた。

1回目の報告：中央・富来田・岩根・鎌足・金田・中郷公民館の各館長より説明

●質疑応答

丸岡委員：富来田公民館で行われている美術鑑賞教室はどのような内容なのか教えてほしい。

原館長：絵画サークルと連携して、東京都美術館や国立西洋美術館などに出かけ、レベルの高い芸術に直接接触れる機会を提供しており、一人では訪れるきっかけがない人でも参加できるようにと年3回実施しており、毎回好評です。

丸岡委員：公民館事業参加のきっかけとなる良い事業だと思うので、継続してほしいと思います。

次に、思春期を対象にした岩根公民館のすぎな家庭教育学級では、保護者の悩み相談を受けているというお話でしたが、子育てについての相談には、高い専門性が要求されると思うのですが、どのように対応されているのですか。

菅野館長：千葉県の相談事業に関わった経験も活かしながら、場合によっては、ソー

シャルワーカーなどに連絡したり、専門機関とのつなぎ役にもなるなどの対応を行っており、的確な助言ができるような体制をとっております。

丸岡委員：金田公民館の着物リサイクル講座ですが、生地で小物を作ったりするなどリサイクル方法も多様だと思いますが、どのようなリサイクルなのでしょう。

小原館長：着物リサイクルは、着物を作り直すという意味です。

丸岡委員：リサイクルはとても大切なことで、多くの人の関心事でもあるので、宣伝すれば、もっと人が集まると思います。

中郷公民館のどれみふぁキッズは、講座名に「どれみふぁ」とつくことから、何か音楽に関係することを実施しているのですか。

竹内館長：ドレミファキッズは、乳幼児と母親と一緒にゲームなどをして交流を図るもので、音楽を使うものもありますが、内容がそれに限定されるわけではありません。

鶴岡委員：鎌足公民館の鎌足探検隊は素晴らしい取り組みだと思います。子どもの関心度によって参加者数に差がでてしまうということですが、例えば毎回ごとにポイントを与え、ポイントの高い子には、最後にご褒美をあげるとか、もっと参加率を上げるような工夫はできないでしょうか。他の館でも参加率が低い事業があるようですが、とてもいい事業なので何とか工夫できないかと思います。

伊藤館長：ただいまのご意見を次年度の参考にしたいと思います。

若鍋委員：全体的に成人や高齢者を対象にした事業が多い中、中央・岩根・鎌足公民館では、ボランティアを含め中学生の参加が多いようですが、勉強や部活などが忙しい現状で、どのような働きかけをしているのでしょうか。また、共通のテーマ「健康」に関する事業では、人口の多少に関係なく、公民館によって参加者数に差が生じているのでは何故ですか。

渡邊館長：各地区の青少年育成会議などを通じて、日ごろから地域と良好な関係が保たれているため、学校など関係機関を通じて、積極的に募集や協力を求めるように心掛けています。

「健康」をテーマにした事業の参加者の差については、地域によって取り組む課題・内容が異なること、募集対象に違いがあることが大きな要因だと思われます。例えば、中央公民館では、幼少期からの生活習慣の見直しを重要視し、家族の健康管理に関心を持ってもらいたい子育て中の母親のみを対象といたしましたが、日中は働く母親も増加してきており、結果的に参加者が少なくなりました。内容や対象、募集方法も含め、次年度の課題にしたいと考えております。

2回目の報告：富岡・文京・八幡台・東清・清見台公民館の各館長より説明

●質疑応答

丸岡委員：文京公民館は、プチトレ・ピラティス講座など若い人の目にも留まりやすいようネーミングの工夫がされているが、新しい利用者を増やしていくためにも、他の公民館でも事業のネーミングに工夫をお願いしたい。八幡台のめばえやひばりといった名称なども一考してみてもいいかと思う。

また、全体的に母親と子どもの参加が多いのに対して、男性、特に父親の参加が少ないようなので、例えば土曜日にお父さんと子どもを対象にした事業も取り入れてみてはどうですか。

渡邊館長：八幡台公民館のひばりという名称は、PTAのお母さんたちが考えたもので、長年地域に定着しており、そうした点も考慮しながら、より魅力的なネーミングを考えていけたらと考えております。

松尾委員：ネーミングに関連して、健康をテーマにした事業で東清公民館の免疫学講座は、内容が具体的で参加者の学習意欲も高まりやすいのではないかと。同様に、岩根の講座もテーマが糖尿病に絞られており、具体的でよい。また、グループワークを取り入れることで、参加者に学びの実感を持たせることに繋がると考えられます。中央公民館の若い人たちに学ばせたいという意図や清見台公民館の食育講座もよい着眼点だと思います。

3回目の報告：富岡・文京・八幡台・東清・清見台公民館の各館長より説明

●質疑応答

村上委員：30代・40代といった比較的若い世代の人たちには、それぞれの生活があり、どうやって公民館に足を運ばせるかは大きな課題です。

東清の「すだち女性セミナー」は、子育てがひと段落した人を対象に新たな利用者の開拓を試みたひとつの成功例ではないか。高齢者になる前の世代を呼び込むのは難しいと思うが、努力を続けていただきたい。

毎回、各館の公民館だよりを拝見させていただいているが、内容の工夫も大事だと思うが、発行責任者（公民館長名）の記載が統一されていないのは何故ですか。発行責任者を必ず入れることで、公民館長の名前を住民に周知することができると思うのですが。

丸岡委員：波岡公民館の「ホタルウォーク」など特徴ある事業は、他の館にも宣伝することで、新しい参加者を得られると思います。健康に関する講座についても、各公民館がお互いに情報提供しあうことで、全体の利用度を高めることが可能ではないでしょうか。また、有名な講師による講演会やイベントなどを企画すれば、母親学級なども参加者の増加に繋がるの

ではないかと思えます。

原 館長：「健康」をテーマにした事業は、各地域の健康に関する課題を視野に入れながら、地区担当の保健師と連携するなど内容も含め、それぞれの地域の実態や特色を生かしながら取り組んでいるため、情報提供のあり方については、今後検討してまいりたいと思えます。

丸岡委員：資料に「重点目標に対する取り組み・成果と課題」というのがありますが、この重点目標はどのように定められるのですか。

渡邊館長：教育委員会としての公民館の重点目標は、今年度4項目定められており、その目標にしたがって、各公民館が独自の目標や事業計画を立てることになっております。

以上で、各公民館からの事業報告と質疑応答は終了し、議案第1号は承認された。

10分間の休憩

議案第2号「木更津市生涯学習審議会委員の推薦について」

事務局より、平成26年3月31日で任期が満了となる木更津市生涯学習推進協議会委員の次期候補者の推薦について、説明がなされた。

山田委員長より、事務局案を求められ、平成22年度より2期4年間務められた金子委員に替わり、新たに松尾玲子委員を木更津市生涯学習推進協議会委員に推薦したい旨の提案がなされた。

全員の拍手により、議案第2号は承認された。

時間の都合により、予定されていたグループ討議は割愛され、引き続き報告事項に移った。

報告事項

(1) 各種選出委員からの活動経過について

- ・生涯学習推進協議会（金子委員より）

市民公開講座や生涯学習フェスティバルの結果と今後の課題、生涯学習バスの運行状況など、3月18日に開催された生涯学習推進協議会の概要について報告がなされた。

- ・社会教育委員会議（青木委員より）

3月24日に会議が開催され、「木更津市の自然体験活動の推進方策と少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」に関する答申の最終段階に入っており、次年度の第1回会議での答申を目標に、作業を進行中であるとの報告がなされた。

- ・図書館協議会（佐藤委員より）

3月20日に会議が開かれ、平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画案について協議がなされた他、現在図書館には、23万7千冊の蔵書があり、インターネット閲覧も可能であることなどが報告された。

- ・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会（山田委員長より）

3月12日に4市の役員会が開催され、平成25年度事業報告・決算報告、平成26年度事業計画案・予算案をはじめ、次年度の活動について協議を行ない、例年通り5月下旬に総会を開催する方向で調整中であることが報告された。

（2）その他

事務局より、平成26年度の第1回定例会の日程について、5月中旬ごろを目安に開催したい旨の連絡が行なわれた。

報告事項に関する質問等は特になく、予定された全ての議事を終了した。

山田委員長より、今年度で退任される岩根・鎌足・中郷・西清川の各公民館長に対して御礼の言葉が述べられ、続いて、退任される4名の公民館長より、ひとことずつ挨拶をいただいた。

最後に、中央公民館長より、平成26年度の館長人事について報告がなされた。

以上をもって、木更津市立公民館運営審議会第4回定例会を閉会した。

平成26年3月31日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会委員長 山田 治子